

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.27)No.	1159	(H.26)No.	1159
-----------	------	-----------	------

事務事業名	学校支援地域本部事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	文化生涯学習室	西山 正彦	

会計区分	事業コード	500505
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	社会教育総務費	
項 社会教育費	(小事業名)	
目 社会教育総務費	学校支援地域本部事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	2	豊かな心をはぐくむ生涯学習の推進
	施策	1	生涯学習
	小施策	1	学習機会の総合的整備
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
地域住民が学校を支援する体制を構築することにより、子どもたちの学力の定着・向上を図ります。また、地域ぐるみで子どもを育てる環境を整備し、地域の活性化を図ります。
事業内容
事業内容…教員が子どもと向き合える時間を確保し、子どもたちの学力の定着・向上を図るため、学校の求めに応じて、授業中の学習支援や放課後の学習指導等、必要な支援を各地域のボランティアが行うことができる体制を構築します。 事業主体…名張市「学校支援本部」実行委員会

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.26年度(事業量・取組実績)	H.27年度(事業量・取組計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・名張市「学校支援地域本部」実行委員会を組織 ・各学校の支援の充実 ・全小中学校をサポートするチーフコーディネーターを2名配置 ・ボランティア、コーディネーターの研修を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・名張市「学校支援地域本部」実行委員会を組織 ・各学校の支援の充実 ・各学校にコーディネーター(有償)の配置 ・チーフコーディネーター3名配置 	<ul style="list-style-type: none"> ・名張市「学校支援地域本部」実行委員会を組織 ・各学校の支援の充実 ・各学校にコーディネーター(有償)の配置 	<ul style="list-style-type: none"> ・名張市「学校支援地域本部」実行委員会を組織 ・各学校の支援の充実 ・各学校にコーディネーター(有償)の配置 	<ul style="list-style-type: none"> ・名張市「学校支援地域本部」実行委員会を組織 ・各学校の支援の充実 ・各学校にコーディネーター(有償)の配置 	<ul style="list-style-type: none"> ・名張市「学校支援地域本部」実行委員会を組織 ・各学校の支援の充実 ・各学校にコーディネーター(有償)の配置

	H.26年度(決算見込)	H.27年度(作成時予算額)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)
①直接事業費	2,299千円	2,531千円	2,531千円	2,531千円	2,531千円
内訳(千円)					
国・県支出金	1,046	1,688	1,688	1,688	1,688
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 1,253	843	843	843	843
人工数					
職員	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人
臨時職員等	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人
②概算人件費	(0千円) 2,505千円	2,505千円	2,505千円	2,505千円	0千円
①+②総事業費	(0千円) 4,804千円	5,036千円	5,036千円	5,036千円	2,531千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.26年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
小中学校19校で実施し、学校・家庭・地域が一体となり教育活動を推進する体制が構築されてきています。	学校とボランティアを結ぶチーフコーディネーターを配置し、ボランティアや地域コーディネーターを養成していきます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	地域人材の発掘、養成とともに、地域づくり組織、市民団体との協働により、学校の多様な支援ニーズに応え、地域ぐるみでの子どもの教育や学校の支援に取り組むことができました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	地域の協力やボランティアにより学校への支援協力を行っています。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
地域や住民の協力を得ながら少しずつ上げ、子どもたちの学力向上につなげるよう努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・名張市子ども教育ビジョン ・名張市次世代育成支援行動計画